

平成26年度 修文女子高等学校評価（計画）

【教育方針】

全人教育・文武両道
教育の根底となる哲学「どう生きていけば幸せになれるのか」の追求

- 1 学 習
・学習に打ち込むことを通して生きる力を養い、知的で豊かな人間性を育む。
- 2 課 外 活 動
・学校行事を通して絆を深め、人間関係の大切さを学ぶ。
・部活動を通してくじけない心を育て、たくましい精神力を養う。
- 3 社 会 性
・社会生活におけるルールや礼儀を体得し、人間としての品格を備える。
・地球環境について正しい認識を持ち、環境保全活動を実践する。

【目指す生徒像】

学習指導、進路指導の充実により生徒の「学びの構え」と、生活指導、特別活動指導の充実より「生きる構え」を育み、心身ともに逞しく「生き抜く力」を身に付けた品格ある生徒を育成する。

【今年度の重点目標】

- 1 基本的な生活習慣、望ましい学習習慣を確立させて学力の向上を図り、規律と責任を尊び、心豊かで充実した学校生活を送ることができるように努める。
- 2 教育活動を通して強靱な体力や精神力、正しい判断力や豊かな情操を培い、心身ともに逞しく生き抜く力を育む。
- 3 教員の授業力を高め、生徒の学習意欲の向上に努める。
- 4 3年間を見据えたきめ細かい指導を行い、生徒の進路志望の実現を目指す。
- 5 生徒・教職員が安心して教育活動が実践できる安全で快適な教育環境の保全に努める。
- 6 生徒・教職員の激甚災害への防災意識を高め、不測の事態に安全に行動できる知識や能力を育成する。
- 7 いじめ防止基本方針に基づき的確な指導を行い、いじめに向かわせない学校風土を醸成する。

項目	重点目標	具体的方策	留意事項
普通科	基礎学力の定着と応用力の養成	・英語、国語の継続的な小テストの実施 ・校外外の試験の活用による実力の把握と目標の設定	・意欲的に学習へ向かわせる体制を作り、大学入試に対応できるだけの実力をつけ、それを実感させる。
	視野の拡大と可能性の追求	・大学見学バスツアーや大学展の活用	・自分の夢や目標が思い込みではないか自問させ、簡単に限界を作らせず、夢を実現させる意欲をもたせる。
情報会計科	積極的な資格取得	・夏季補習、検定直前補習、朝補習の充実	・3年間の検定取得に組織的に取り組み、日本商工会議所主催の検定合格を目指す。
	即戦力となる人材の育成	・始業前着席、授業準備の徹底	・コミュニケーション能力の育成を念頭に置き、きめの細かい指導をする。
家政科	基礎学力の定着	・学習コンクールに対する学科テストの実施	・学科全体で小テストを実施することにより、学習習慣を確立させ、基礎学力の更なる伸長を図る。
	家庭科検定資格取得の強化	・検定補習の実施	・家政科生徒としての自覚を持たせ、基礎的な技術と知識を身につけさせる。
	附属幼稚園との連携強化	・保育実習 ・スモック製作・贈呈	・課題研究(保育コース)での保育実習も実施する。
食物調理科	調理技術と知識の習得	・調理師としての自覚の涵養	・個人面談を定期的に行い、一人ひとりの特性の把握に努め、調理師としての自覚を育てる。
	地域に根づく学科	・地域活性化事業への参加 ・地元企業との商品共同開発	・地産地消をテーマに、一宮市にちなんだメニューを考案し、発表する。最終的には商品化できるように企業に働きかける。
総務課	図書館の利用促進	・蔵書管理システムの活用	・蔵書管理システムを活用し、貸出・返却業務の効率化を図るとともに、蔵書データの一括管理を行う。
		・図書に関する積極的な広報活動	・図書委員会だより「Lメール」や新着図書案内などを通して、図書に関する情報を積極的に発信し、読書に対する生徒の意欲を高揚させる。 ・図書委員会による企画展を実施し、図書館への来館者数の増加を図る。
	防災に対する取り組みの推進	・防災教育の推進 ・防災マニュアルの整備	・災害に対する防災意識を高め、不測の事態に安全に行動できる知識や能力を育成する。 ・防災マニュアルの内容について不十分な箇所の整備を行う。
教務課	基礎学力の定着	・家庭学習習慣の確立	・各授業での課題や復習ノートを義務付けることで、新しいことを知る場である「授業」の内容を定着させる。
		・授業規律の確立と授業力の向上	・始業終業のけじめと挨拶を徹底する。 ・生徒の学習効果を高める授業力の向上に努める。
生徒課	品位ある生徒の育成	・正しい身だしなみの確立	・正しい身だしなみの習慣を身につけさせるため、日常的に生徒への声かけ指導を実践する。
		・交通マナーの遵守	・交通安全指導を徹底し、正しい登下校マナーを身につけさせ、事故「0」を目指す。
	生徒会活動の活性化	・委員会活動の活性化 ・部活動の活性化	・月ごとに委員会の目標を決め黒板に明記するとともに、毎月委員会を開催することにより活気ある学校生活を送らせる。 ・定期的に「部活動だより」を配付し、生徒・保護者の理解と協力を得る。
進路課	納得できる進路選択	・進路シラバスの活用	・3年間継続的かつ明確な目的を持った指導により、3年間の熟慮の結果として進路選択をさせる。
		・多様な入試制度の活用	・多様な入試制度を活用させることにより、進路選択の幅を広げさせ、可能性を拡大させる。
		・就職試験対策の強化	・就職試験対策補習を行い基礎学力の定着を図る。また、一定基準以上の面接力を持てるように指導し、進路志望の実現を図る。
広報課	情報発信の充実	・ホームページの年度更新 ・ホームページの更新率100%を継続	・SNSとの連動により年間ホームページ訪問者数を拡大させる。 ・緊急連絡を迅速にホームページへアップする体制を強化する。